



かえでゆうびん 12月号



2023年12月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園
かえで保育園
園長 引地 美津代

2023年も残すところわずかとなりました。皆様にとってどんな1年だったでしょうか？5月まではコロナ・・・に世界中が震撼し、たくさんの命が失われてきました。先の見えない生活に心が折れてしまいそうになりました。ですが人間の解決していく力で3年という短い期間で得体のしれない細菌にも打ち勝つ方法を見つけ、今では通常生活に戻れるまで、研究が進んできました。また、コロナ前とはまた違った新しい生活様式を取りいれ、様々な衛生管理の中で生活を戻すことができました。人は極限に達したとき、必ず、それを抜け出す道を見いだせる力が出てきます。震災が起こった時も復興に向けて皆が知恵を絞って復活させてきました。ですが、ウクライナとロシアの戦い、それでは終わらず、イスラエルとイスラム組織の戦闘もたくさんの犠牲を出しながらもさらに難しい状況になってきています。この戦闘はコロナや震災の時とは違い、人間同士が争いを起こし、また、多くの命が危険にさらされているながらもどの方向に進んでいくのか未知です。

人のために手を差し伸べよう。相手の気持ちになって考え行動しようなどの誰もが本来持っている「人の心」がこんなきっかけで人の命も奪い、何年も争ってしまうことに大変危惧してしまいます。どうぞ、2024年は皆が争わず、世界中が穏やかで皆が笑いあって過ごせる年になりますように・・・

12月16日は3年ぶりに「せいちょう発表会」と「作品展」を合わせた「かえでフェスティバル」を開催します。行事のための取り組みではなく、この1年で子どもが面白い・やってみたい・ふしぎなど心が動いた時に感じた色・形・言葉・音などを自由に表現します。人間の成長では、伸びるタイミングと与えるタイミングがあり、それをうまく手繰り寄せることが重要だと。幼少期（0歳時～6歳児）には「心が動くこと」をたくさん経験し、その経験値を持ち、少年期に成長していきます。否認知能力は毎日繰り返し体験していくことが必要で、五感や心を刺激したことが肥やしになり、やがて、少年期（7歳～）に入った時に始めて認知能力（文字・数いわる勉強）が動き出し、学びの刺激によって考える力となっていく。かえで保育園には「あそびの中のまなび」は沢山あります。

これからも様々な方向から刺激し
認め合い、進んでいけるよう環境を
整えてきます。



12月はクリスマス会ではなく、「一年の感謝をする会」として今年を振り返ります。子供たちがたくさんのお楽しみが体験できる一日にしていきたいと思います。楽しい時間になりますように・・・

おねがい

- ・12月29日から1月3日までは園が休園となります。緊急時は携帯にご連絡してください（園の開園時間のみ）
080-9500-1997(かえで保育園携帯)
- ・紅白帽子・登園帽は週末には必ず洗濯してください。
- ・冬支度について
- ・園で着用する上着はフードが付いていないものをご用意下さい。たくさん重ね着をせず、動きやすい服装にしてください。（綿の半袖シャツ・トレーナー・上着で調節）
- ・下着は綿100%を着用してください。ヒートテックなど化繊のものは汗を吸わず、体を冷やしてしまいます。
- ・**登園前の予防接種、病気のための受診後の登園は控えてください。予防接種をした後は必ず健康観察のため園にお知らせください。**

おしらせ

12月の予定

- ・4日～14日 関西学院大学より4名が保育実習に来られます。
- ・5日（火）人形劇／だいち（浜脇中学校へ）・園庭で焼き芋・足湯
- ・16日（土）かえでフェスティバル（演技と作品展）
- *つぼみ～だいちぐみが参加します。めばえ・ふたばは家庭保育のご協力をお願いします。
- ・20日（水）誕生会
- ・22日（金）月例健診
- ・25日（月）おたのしみ会&おたのしみメニュー
- ・12月29日～1月3日 休園
12月26・27・28日1月4・5日
（1号及び家庭保育可能なご家庭は冬期休暇となります）
- ・絵画 6日（水）19日（火）
- ・体操 7・21日（木）

1月の予定

- ・4日（木）5日（金）お弁当日となります
- ・16日（火）ひかり・だいち 雪あそび ～六甲スノーパーク
- ・2月22日（木）3年ぶりに白鹿の酒蔵見学を復活させます。
博物館・ミュージアムの見学ひかり・だいちぐみが参加します。
だいちぐみの保護者の方のみ酒蔵見学に2名の参加ができます。
詳細は後日お知らせします。

先生のメッセージ

一月に長女が成人式を迎えます。子育ても一段落、と言いたいところですがまだまだ心配事は絶えません。友だちと車で出掛けた日は帰宅するまで心が落ち着かず、だれと？どこに？夕飯はいるの？何時に帰るの？と毎日確認してしまう心配性の母です。当たり前のように家族で過ごしていた休日が懐かしくていとおしく、ずっと欲しかった自分時間を持て余している今日この頃です。そんな退屈な私の時間を癒してくれるのは観葉植物です。コロナが流行し始めて家で過ごす時間が長くなったことがきっかけとなり買い始めました。初めはうまく育てることができず枯らしたこともありましたが、試行錯誤しながら今では元気な葉をたくさんつけてくれています。過保護になりすぎず愛情を注ぐ。まるで子育てのようですね。今のお気に入りにはピカクシダという植物で、カーテンレールでゆらゆら揺れる姿を眺めることが私の癒し時間の過ごし方です。

保育教諭 K

社会人も2年目になり、保育の中でも楽しいと感じる場面が沢山増えました。去年には思い浮かばなかったアイデア、遊び、関わりも芽生えはじめ、保育の道を選んでよかったと改めて実感しています。プライベートでも料理と英語学習の2つに挑戦することにしました。料理では好きな給食のレシピを教えてもらい、実際に作ったり、お味噌汁も初めて出汁をとってみました。「この料理にはどんなお皿が合うかな…」と考えながら、作る時間が好きです。英語学習は大学生の頃、短期留学に行ったことから英語が好きになり、勉強を始めました。2年ほど英語から離れていたこともあり、いざ話そうとすると言葉が詰まったり、思ったように文章にならないこともあります。毎日自宅に帰ると、英会話をすることが習慣になり、学習時間を設けることで、仕事後も充実した時間を過ごせるようになりました。人生100年時代、生涯学習が重要視されている今、大人になっても学び続ける人でありたいです。

保育教諭 K

メッセージ

温かいものがおいしい季節となりました。お昼ご飯のときに温かい汁物を口にすると子どもたちのお腹の中もほっこりするようです。食欲の秋から冬へと季節が変わりました。子どもは寒くなると薄着では風邪はひかないか、寝る時お布団をかけてもかけても剥いでしまうなど、保護者の方は子どもの体調管理には大変気苦労されていると思います。保育園ではなるべく毎日同じリズムで過ごせるよう1日の過ごし方を工夫し、戸外では体を思いっきり動かして遊び、室内ではゆっくりとした時間を過ごしたいと思います。さて冬の室内あそび、今年はだいちさんを中心に指編みが流行っています。「どうやってするの？私もやってみたい、先生教えて」「先生左利きだからちょっと待ってよ」と、右に毛糸を持ち替え説明しようとしたところ「あ、大丈夫、大丈夫、先生が左でもわかるわかる、そのままでいいからやってみて」と優しく声をかけてくれました。その後、私が編んでいる指をじっとみながら、自分の指を動かし、「ほらできたよ」とあっという間に、次から次へと仕上げていました。鎖編みは見立て遊びの道具へと変身します。興味のある方お家で作ってみませんか？

主幹保育教諭 F

12月になり街中がきれいな光に包まれ始めると、何だかわくわくした気持ちになります。そして年の瀬が近づいていることを感じながら今年もまた、1年を振り返る季節となりました。

会いたい人と会えたこと、初めての場所に足を運べたこと、「おいしいね」と言いながらご飯が食べられること、2023年も小さなしあわせに“ありがとう”の気持ちで新たな年を迎えたいと思います。

今年、だいちさんの中で『ちくちく言葉とまんまる言葉』という言葉が生まれました。

「心がちくちくする言葉よりも、まあるいまんまる言葉がいいよね」周りの人にも、自分の心にとっても大切なことだと思います。

自分の心をまあるくするのはとっても簡単なこと、「おはよう」や「ありがとう」の言葉もまんまるな気持ちで届けられる人でありたいです。

そして、子どもたちには“まんまる言葉”が行き交うあたたかい環境の中で、育ってほしいと願っています。大人になると様々な言葉に触れる機会が増えますが、子どもたちには沢山のまんまる言葉を日々届けていきたいですね。

おうちの中にある“まんまる言葉”もぜひ、ご家族と一緒にさがしてみてください。

主幹保育教諭 K

保護者からのエピソード

入園して半年以上が経ち、ハイハイだった娘が靴を履き、「はっぱ！」「わんわん！」と外の世界を楽しむ姿が増えてきました。たくさんのことに興味をもって日々過ごしているんだなと嬉しく思います。最近のブームはぎゅーっとすること。お迎えの時のぎゅーっが最高のご褒美です。

めばえ組 ゆみかさん

日曜日の夜「お休み終わっちゃうねえ…」と家族で話していると、「え〜…。でも保育園のお友だちに会えるからそれも楽しみやんなっ！」と妹弟で喜んでいました。保育園が大好きな2人です。

いぶき・だいち組 ゆかさん

絵本「おしいれのぼうけん」に登場する「ねずみばあさん」（人形）が怖いけど、気になる双子です。つぼみの部屋の前にいるのを見ながら、「顔の向きが変わったよ」「動いているんじゃない？」と親子の会話にもたびたび登場。移動すると、「ねずみばあさんがランチルームにいたよ！」と目を見開いて報告してくれます。だいちさんの大冒険の日の翌日は、水槽や階段に「足跡」を見つけて大興奮。迎えに行くと手を引っ張って案内し、「ねずみばあさんの足跡があるんだよ！」と教えてくれました。降園時、双子がなかなか帰ろうとしない時は「もう暗くなったから、ねずみばあさんが動き出すぞ〜！」と声をかけると、怖いからか急いで玄関に向かってくれます。ねずみばあさんのおかげで、保育園がさらに楽しく、親にとっては助けにもなっています。

つぼみ組 あかねさん

入園時には泣いて過ごしていたようですが、今ではお迎えに行くと“帰りたくない”と泣いています。保育園で覚えたダンスを毎日披露してくれています。撮って下さった写真を見て、娘の成長や新しい表情を見られることも楽しみの1つです。

めばえ組 あやかさん

一番年下でふたば組に入り、一人立ちもあやふやでしたが、いつしか走ってくるように元気に育ちました。まだ言葉はあまりしゃべれませんが、「ありがとう」と言ったら、おじぎをするふりをしてくれるようになりました。先生方に大変感謝しています。いつもありがとうございます。

ふたば組 りんみょうさん

ふたば組になってできることが沢山増えました。トイレが成功したり、お着替えも自分でできたりでびっくりです。言葉も日々増えてきてこれからの成長も楽しみです。

ふたば組 ももこさん

11月の子どもたちのようす



初めて交通公園に散歩に出かけました。たくさんの落ち葉の上に座ったり、歩いたり、上から落としてみて秋の自然物での遊びを体験しました。

たくさん身体を動かし楽しめました。帰り道バギーでは、ウトウトしてしまうお友だちもいました。



園内探検が始まりました。園で一番広いお部屋のランチルームで遊びました。

緑色のふかふかのマットに思いっきり飛び込んで遊んだり、こけないようバランスを取りながら歩いたりたくさん身体を動かしました。巧技台の上も上手に登って降りることができました。ロッククライミングに挑戦する子どもの姿も見られます。

また、聞こえてくる音楽に合わせて口ずさんだり、体を揺らして踊る子どももいました。



室内でも盛り上がっている電車遊びですが、園庭では自身がフープを使って電車になりきって遊ぶことを楽しんでいます。一人で楽しむ子どももいれば、保育者や友だちと一緒に一つのフープに入って楽しむ様子も見られます。「しゅっぱーつ」と言って元気よく発車し、すれ違う友だちには「ばいばーい」と嬉しそうに手を振っています。



先月、室内でどんぐりと指絵の具を使ってどんぐりの転がし絵をして遊びました。園庭に落ちていたどんぐりも使い、バットの中でコロコロと転がして画用紙に色をつけました。絵の具が苦手な子どもも手が汚れにくいという点から楽しんで取り組めていました。どんぐりを落とさないように集中している表情がとても可愛らしかったです。



「プレーパーク」に散歩に出かけ、たくさんの秋を見つけてきました。広いプレーパークに着くと、元気いっぱい走り出す子どもたち。どんぐりやトキワサンザシなどの秋の自然物を拾い、子ども一人一人自分で作ったお気に入りの散歩バックに入れて、大事に持っていました。保育園に帰ってから、拾い集めたどんぐりで転がし絵をしたり、落ち葉で色分け遊びをしたりして、秋の自然物を楽しみました。



毎日「朝のあつまり」で歌を歌っています。

歌が大好きなつぼみさんは、「にじ」や「どんな色がすき」などの少し長い歌もたのしく歌っています。ピアノに合わせて歌っています。楽器に触れる時間もさらに増やしていこうと思います。





今回のバス遠足は遠方のため、いぶき組は留守番となってしまいましたが、ひかり・だいich組がたくさんさつまいもを掘ってきてくれました。そこでいぶき組も手作りバスに乗って、かえで農園での芋ほりを楽しみました。ペアのお兄さん・お姉さんに掘り方を伝授してもらい、力強く土を掘り、さつまいもに傷がつかないように優しく取り出すことを教えてもらいました。経験したことを「いぶき組にも体験させてあげたい」というひかり・だいich組の想いを感じました。



1人が遊び始めると、自然と友だちが集まり「野球」や「ままごと」など遊びが始まります。ある日2人が園庭に穴を掘っていました。少し時間が経つと5、6人ずつ順番に穴を掘り「宝石がでてくるかな」「どこまで掘れるかな」など話をしながら穴を掘りました。「ぼくはここ掘る」など声を掛け合い、連携する姿が見られ協力しあうこともできるようになってきました。



カスタネットやタンバリン、鈴、マリンバ、ハモンド…などたくさんの楽器に触れる機会を設けました。改めて持ち方や楽器の鳴らし方、優しく丁寧に使うことを再確認してから、簡単な音楽に合わせて、みんなで音楽を作ることを楽しみました。また、数が限られている為一度に同じ楽器を使うことが難しい場面でしたが、子どもたち同士で声を掛けて譲り合う姿にほっこりしました。



～晴れと雨どちらもいいね～
だいich組の毎年恒例の杉玉づくりでは、ちくちくした杉を子どもたちが1切り1切り願いを込めて丸く切りました。「またねずみばあさんに会えますように…」「ずっと見ていてくれるんだね」と完成した杉玉を見ながら玄関先で一人ひとりオリジナルの杉玉を描いていました。2日間に分かれて描いた時の天気が晴天と雨。晴れている時は「お日様もぽかぽかして気持ちいい」とのびのび描く楽しさ、雨の時は「雨の音を聞きながら描くのもいいよね」とゆったり描く楽しさとどんな時でも楽しめることをよく知っているなど感じました。雨だからできないと否定的でなく、新たな発見を知るきっかけになるよう、何気ないつぶやきにも気付いていきたいです。



先月のバス遠足で掘ってきた、沢山のさつまいもの大きさを比べたり、おもしろい形のものを探したりしてさつまいもの観察を遊びを交えながらしました。その後、自分のお気に入りのさつまいもを2つ決めて、クレパスや絵の具で絵を描きました。「ひげが生えてるね」「ここだけ色が違うんだ」など特徴をじっくりと観察しながら描くことを楽しんでいました。また、「なかなか出てこなかったよね」「途中で折れちゃった」など遠足の思い出を友だちと語り合う様子も見られました。





～築山に集合！～

園庭に出ると「築山に集合！」の声で数人が集まり野球やサッカー、綱引きや鬼ごっこ等の遊びが始まります。春頃は、どの鬼ごっこをするか数人で話し合うのにお互いの気持ちが譲れず「したかったのにな…

もういいよ」と別の遊びに移る姿がありました。

最近では「鍵鬼ごっこの後、氷鬼ごっこするのはどう？」「2人鬼にしよう」と提案しながら友だちに尋ねたり、一緒に考えたりすることも増えてきました。

運動発表会で盛り上がった綱引きでは「〇〇ちゃんと一緒にしたかったな…」「2回目でチーム交代しない？」とチーム分けや人数、場所決めを話し合っていました。自分がしたいことと友だちがしたいことを言葉で伝えあうことも遊びの中で繰り返すことで子ども同士の関わりが深まるよう見守っていきたいです。



今、園庭でさら砂集めが流行しています。夏に泥遊び用に作った壁が今ではさら砂作りに大活躍しています。まず初めに壁に砂を振りかけます。そのあとスコップで壁を擦ると細かなさら砂の出来上がり。バケツいっぱい集めたさら砂の感触を楽しんだり、絵の具で色付けをして製作に使ったりして色々な遊びに発展しています。子どもは遊びの天才。大人の発想を超えた豊かな想像力で自ら遊びを考えだし、それがだい組からひかり組へ、そしていぶき組にも広がっています。



お台所から

今月の食育活動

11月2日

秋といえば栗が美味しい季節ですね。子どもたちにも秋ならではの食材に触れてもらいたくて、幼児クラスの子どもたちからではありますが、おやつにゆで栗を出しました。

じっくりお鍋でぐつぐつと煮て、少量の塩を入れて柔らかくなれば完成です。半分に切った栗はスプーンで上手に食べました。殻のギリギリまで綺麗に食べてくれる子や、苦手だけど一口挑戦している姿も見られました。これからも「旬の食材」に出会い、「美味しい」「また食べたい」と思えるようにメニューを工夫していきたいです。



11月9日

だいちゃんさんの「だいぼうけん」でのドーナツ作りから再オープンしました。

パウルに小麦粉や卵、牛乳といったドーナツの生地になるたくさんの材料を入れて捏ね、混ぜる様子や、生地が発酵して膨らむ様子まで、興味津々に見てくれました。

「今ドーナツどんな感じ？」「ちょっと大きくなってね！」と見た感想を教えてくれる子や、揚げたドーナツをお台所の扉からチラッと見たのを他の子に教えている子もいました。

みんなおやつの時間になるのをとても楽しみにしている様子で、ドーナツをみた瞬間、「美味しそう！早く食べたい！」と歓喜の声が上がっていました。



芋ほり遠足で掘ったさつまいもが11月のごはんでは色々なもの到大変身しました。ゴロゴロしたさつまいもが入った“さつまいもごはん”を始めとし、“さつまいもの素揚げ”“スイートポテト”“さつまいもの甘煮”や、いつもは鶏肉の照り焼きの添えにじゃがいもですが、今月は“さつまいも”に変更したりと、さつまいも尽くしでした。まだまだたくさんのさつまいもを新しいメニューで食べてもらいたいです。



12月の献立・予定している食育活動

本格的な冬が近づき、12月は葉物野菜の多くが旬を迎え、美味しく食べられる季節です。

寒さや感染症に負けない体と心が温まる食事や、旬の食材をたくさん取り入れたごはんを作っていきます。また12月22日頃には冬の七草のひとつである「かぼちゃ」をメニューに入れています。子どもたちが毎日のごはんを楽しみにしてくれる献立や活動を今月も考えていきたいと思います。

12月のあそびへの思い

めばえ

冷たい風が吹く季節になりました。これから寒さが増していきます。気温を見て靴を履いたり上着を着てから園庭に出るようにしていきます。園庭に出るとたくさんの落ち葉が落ちています。それを拾い「ぱっぱ」と言ったり、茎をもって指先を器用に使い「くーくー」と言いながらくるくる回して遊んでいる姿が見られるようになってきました。また、葉っぱを集めて上から投げて落ちてくるところを見て楽しんでいます。自然物にも触れて遊ぶことができるように落ち葉を集めたり、子どもたちとどんぐりのマラカスを作るなどしていきたいです。どんどん寒くなっていますが、身体をたくさん動かして遊ぶことができるように積極的に園内探検に出たり、ランチルームで遊ぶ機会も作っていきたいと思います。

ふたば

本格的な寒い冬がやってきましたね。朝晩はとても冷えますが、日中は暖かい為園庭での遊びもまだまだ楽しんでいます。最近では以前よりも友だちと一緒にいることに喜びを感じており、保育者の声掛けが無くても自然と子どもたちで関わりや言葉のやり取りを楽しんでいます。園庭の木の丸いテーブルに集ってままごとをしている姿にはいつもほっこりします。友だちがしていることに興味を持って日々互いに影響を受け合って成長している子どもたちです。自分でできることも増え、時には「自分でやりたい！」と子どもから伝えてくれることが増えてきました。その気持ちを尊重してこれからも見守っていきましょう。



つぼみ

一気に秋の気候になりましたが、毎日はりきって園庭に出て外をいっぱい動かしています。友達と一緒に遊ぶ中で自分の思いや相手の思いを少しずつですが、伝えあうことが出来るようになってきました。遊びも子どもたちの誘い合いから、電車ごっこや追いかけっこが始まるようになり、一緒に遊ぶことを楽しむことが増えてきました。これから益々寒くなっていきますが、寒さに負けず元気いっぱいに活動していきます。また、かぶの栽培を始めてから色々な野菜に興味を持ち、実際に野菜に触れたり、図鑑や絵本を見たりする中で、「おおきなかぶ」の絵本にも興味が広がっていききました。今では「うんとこしょ、どっこいしょ」とみんなで声を合わせながら色んな役を楽しんでいます。絵本を読むだけでなく、友だち同士でかけあう「ことばあそび」を楽しみます。

いぶき

秋の自然物でたくさんあそびました。子どもたちは、赤や黄色の葉を拾い集めたり、どんぐりを見つけると大切にポケットの中に入れたりするなど、見つけるたび嬉しそうな子ども達。葉っぱを2つ見つけるとうさぎの耳をイメージする子どもや、どんぐりを並べて顔を作ったりと秋の自然に触れて遊ぶことを楽しんでいます。また友達と一緒に楽しむことや、イメージを共有する姿がよく見られます。自分の思いを伝え合うこと、相手の思いに寄り添おうとする姿も見られ嬉しく感じます。時には上手くいかないこともありますが、けんかをするのがいけないのではなく、自分の思いを素直に伝えることや、相手の気持ちに気づく経験をたくさんしていく中で、友だちとの関係が心地よいと感じたり、思いを受け止め合える仲間関係を築いていけたらと思います。

ひかり

お昼ごはんの後に、絵本室で絵本を読むこと以外にも「お米のもみとり」という時間ができました。だいち組が以前していた、お米の穂を割りばしで取る作業をマンツーマンで教えてもらいました。お昼ご飯を食べ終わっていて、当番の仕事が終わっているだいち組の友だちに「〇〇ちゃん、お米やろうよ」と自分から声を掛けることからその時間は始まります。はじめは恥ずかしい気持ちが勝り、なかなか声を掛けられない子もいました。しかし「〇〇くんまだお米やってないよね？一緒にしよう！」とだいち組のお兄さん・お姉さんから声を掛けてもらえたことがきっかけで体験することができたと共に、自分から話しかける勇氣も芽生えてきたようで、今ではひかり組から誘い掛けることが多くなりました。友だちに話しかけたり、人前でなにかをすることは勇氣がいりますが、友だちに気持ちが伝わる喜びを味わえるように関わっていきます。

だいち

朝の集いでみんなで歌っていた『小さい秋』を口ずさみながらどんぐりや色鮮やかな葉っぱを拾い「赤もオレンジも黄色もある」「こっちはつるつるだけどこっちはパリパリ」とそれぞれの感触や色合いを話しながら秋を感じています。先月のバス遠足先でお世話になったおっこ山保育園の年長さんへ贈りものを届けたいと御前浜に貝殻と砂を集めに行きました。お友だちを思い浮かべながら書く手紙や色砂や絵は“届けたい”気持ちも込められているように感じます。その思いはかえでフェスティバルにも繋がってきています。みんなで経験したことを表現する楽しさやお互いの気持ちを知る機会にしたいです。

はまかぜ

今年の夏はとても長く、あっという間に季節が巡って寒い冬の訪れです。束の間の秋にはひかり組とだいち組で芋ほり遠足に出かけました。一時間強のバスの旅でしたが、バスの中では好きなサツマイモ料理を言い合ったり、歌合戦をしたりと楽しい時間を過ごしました。着いたらまずはおにぎりを食べて力をつけます。食べたら軍手をはめていざいもほりの始まり。両手で土をかき分けるとすぐにさつまいもの頭が見えるのですがそこからがなかなかです。引っ張ってもびくともしない。掘っても掘ってもまだまだ抜けない。せんせいてつだって～！と諦めかけた頃にあちらこちらから抜けた！抜けた！と歓声があがりました。土の中から出てきた大きなさつまいもを高々と持ち上げて満足そうな子どもたちでした。次の日は園庭でいぶき組もいもほりにチャレンジ。ペアのだいち組に掘り方を教えてもらいながら、力いっぱい楽しむことができました。掘ったたくさんのサツマイモは園での昼食、おやつメニュー、そして園での焼き芋などでおいしく頂いています。

